

早稲田大学アジア太平洋研究科・松岡研究室

2015 夏合宿

報告書(第4号)



早稲田大学伊豆川奈セミナーハウスにて(2015年7月18日)

早稲田大学国際学術院・大学院アジア太平洋研究科
松岡研究室

幹事長 大野 晃平(修士2年)

2015年7月21日

1. 合宿日程

2015年7月17日(金)～7月18日(土)

2. 合宿先

早稲田大学伊豆川奈セミナーハウス

所在地：〒414-0044 静岡県伊東市川奈字扇山 1427-10

Tel：0557-44-5007

Fax：0557-44-5008

3. 目的

- ・修士課程、博士課程問わずゼミ生同士の親睦を深める
- ・修士課程修了生の論文発表とレビュー
- ・その他学生の論文計画発表

4. スケジュール

2015年7月17日(金)

| 時間 | 内容 |
|-------------|---------------|
| 14:00 | 伊東駅にて集合 |
| 14:30 | 伊豆川奈セミナーハウス到着 |
| 15:00-18:00 | ジョイントゼミナール |
| 18:00-19:00 | 夕食 |
| 20:00- | 親睦会 |

2015年7月18日(土)

| 時間 | 内容 |
|------------|------------|
| 7:30-8:30 | 朝食 |
| 9:30-11:30 | ジョイントゼミナール |
| 12:00 | セミナーハウス出発 |
| 12:30 | 伊東駅にて解散 |

5. 参加者

修士課程2年4名、博士課程5名と松岡教授の計10名が参加した。

表 1 参加者一覧

| No. | 学生参加者氏名 | 学年 |
|-----|-------------------|--------|
| 1 | 大野 晃平 | 修士 2 年 |
| 2 | Daniel Chereau | 修士 2 年 |
| 3 | Chen Liwei | 修士 2 年 |
| 4 | Nguyen Ngoc Quynh | 修士 2 年 |
| 5 | 李 洸昊 | 博士 3 年 |
| 6 | Qin ziyi | 博士 3 年 |
| 7 | 林田 明子 | 博士 3 年 |
| 8 | 胡 笏 | 博士 3 年 |
| 9 | 岩田 優子 | 博士 2 年 |

6. 一人当たり費用

表 2 費用

| 項目 | 金額 |
|------------|----------------|
| セミナーハウス利用料 | 1,770 円 |
| 食事代 | 3,024 円 |
| タクシー代 | 670 円 |
| 酒/軽食/その他 | 1,000 円 |
| 合計 | 6,464 円 |

7. ゼミナール概要

合宿初日および 2 日目の午前中に、セミナールームにて修士課程と博士課程のジョイントゼミナールが行われた。修士課程修了予定学生 3 名による修士論文の発表、そして博士課程 1 名による学会発表を控える研究発表が行われた。

1. Daniel Chereau

“Evaluating Market-Based Instruments for CO2 Emissions from Air Transport”

2. Chen Liwei

“Evaluating the Performance of VFM Test in Public Private Partnership
-Case of Partnership Victoria, Australia-”

3. Nguyen Ngoc Quynh

“Evaluating Cost-Effectiveness of Multilateral and Unilateral CDM
-The Case of China-”

4. 林田 明子

「環境規制が製造業に及ぼす経済的影響についての実証分析」

図3 ゼミ合宿の風景



8. おわりに

食堂から見える大きな海や周りの緑豊かな山々に囲まれ、快適で落ち着いた合宿を送ることができたこと、ここに伊豆川奈セミナーハウスの職員の皆様にお礼申し上げます。

今回の合宿の実施は学期中ということもあり、ゼミ生のほぼ全員が参加となった。プレゼンテーションに関しては、より全体を巻き込んだ議論が必要であると感じた。そのため、コメンテーターだけでなく、参加者全員に事前の論文（資料）共有をすることが望ましいのではないかと。

また、2011年度までは、夕食後にゼミ生全員の研究の共有や決意表明等を行うワークショップが行われていたようなので、学期中のゼミ生の様子を見ながら適宜そういったこともスケジュールに組み込んでいくこともよいかもかもしれない。上記の2点については今後の課題としたい。

最後に、準備段階における情報共有の不備や当日の段取りの悪さにもかかわらず、ゼミ合宿を支え、盛り上げてくださった松岡ゼミの皆さんにお礼を申し上げます。